

平成 29 年 4 月 3 日

報道各位

一般社団法人日本電気計測器工業会

「IoT イノベーション推進委員会」の発足について

一般社団法人日本電気計測器工業会（JEMIMA、会長 小野木 聖二）は、4月1日付けで「IoTイノベーション推進委員会」を新たに発足させました。本委員会は14社17名の委員から構成され、会員企業に有用な関連情報の整理とサービス提供に加え、計測と制御の総合的な工業会として、国内・海外におけるビジネスの拡大や活性化に寄与できる提言や施策を行います。

欧米では新たな産業革命に向けたビジネスモデルや技術トレンドの創出に向けて、Industrie 4.0やIndustrial IoT等が提唱され、先進的かつ試行的な応用を含めた各種検討と取り組みが加速しています。一方、アジア各国でも、それぞれの産業分野で革新に向けた検討と取り組みが開始されています。日本においても、それらに先駆ける形で政府主導のもと、第四次産業革命に向けた数々のプロジェクトが発足し、取り組みが進んでいます。

JEMIMAではこれらの変化を好機と捉え、会員企業が有する計測・制御技術を核として、日本企業の特質を活かしつつ、国内ユーザのみならず海外展開も視野に入れた、グローバルでのIoT技術の発展に貢献することを目指します。

会員企業の事業領域は、工場やプラント、社会インフラなどに加えて、一部の医療分野等も含めた多岐にわたる計測・制御機器やシステムであり、第四次産業革命で示されるデータ駆動型の生産や運用構造においても極めて重要な技術要素に位置付けられています。これらの機器のスマート化、インテリジェント化に伴い、センシング機能や情報処理能力を強化させて、さらにICT、AI技術、ビッグデータ解析等との組み合わせで革新的に発展させることは、幅広いユーザの期待に応えるものと考えています。

本委員会の当面の活動は、下記の通りです。

- (1) 会員企業の拡大する事業領域*において、IoT技術により、どのような革新・変化が考えられるかを、広く現場や専門家の知見も活用し、検討します（*医療・ライフサイエンス、環境・エネルギー、部材/素材製造業、加工/組立/消費財製造業、スマート社会インフラストラクチャなど）
- (2) IoT技術とその応用の可能性を正しく理解し、ビジネスで活用するために必要となる知識や情報を会員企業へ提供します
- (3) 省庁や他工業会の新たな事業、産官学のプロジェクトへ積極的に参加し、計測・制御を基盤とする活動をリードします
- (4) 工業会として共通で取り組むべき課題を抽出し、将来の事業計画、委員会活動へ反映します

< 本件のお問い合わせ先 >

一般社団法人日本電気計測器工業会 事務局 宮川（Tel 03-3662-8182、Fax 03-3662-8180）

以上